

KRC WEB REPORT

徒然想

どうやら今年の夏は暑くなるそうです。特に7月下旬や8月下旬にかけては猛暑日が続くかもしれないと聞きました。雨が降り過ぎても暑過ぎても困りますなどと言うのは、傲慢なライフスタイルに慣れた人間の戯言なのでしょうが、災害も心配ですし、なんとかバランス良く快適に過ごせるように調節してほしいなどと自然相手に勝手なことも思います。とは言え、しかし、そんな私たちが強引に手にしてきた快適さと引き換えに、この地球が悲鳴を上げている事実も忘れてはいけません。むしろ、バランスが必要なのは、持続可能な共存に対する感覚なのでしょう。さて、この夏の暑さが、いったい何を私たちに問いかけてくるのでしょうか。少しでも良い夏になるようにと願うばかりです。

TECHNICAL TOPICS 今月の技術情報

令和3年度 山田一字賞 受賞報告

この度、弊社の木本啓介(クリエイティブ事業部)の博士論文が、前田記念工学振興財団主催の“令和3年度山田一字賞”を受賞いたしましたのでご報告いたします。(2021年6月4日WEB授賞式にて)

前田記念工学振興財団は、我が国の工学(土木系、建築系)に関する学術振興に寄与することを目的として、平成5年に設立されました。その活動の一環として、毎年著しい成果を挙げた研究者に対する顕彰のために、応募された博士論文の中から学問的にも社会的にも、また有用性の点からも優れた論文に対して「前田工学賞」を授与し、また独創性・新規性に富む論文に対して「山田一字賞」を授与しています。

受賞論文「画像解析技術の応用とロボット技術の活用による橋梁点検の効率化・高度化に関する研究」は、長崎大学松田浩教授指導の下で2019年に提出した論文です。これまで、文化財の記録保存や土木建築構造物の施工や維持管理に活用してきた三次元計測技術、特にSfM/MVSを橋梁点検に応用することにより橋梁点検の効率化・高度化を目指した研究です。研究の中では実橋梁(江島大橋、鷹島肥前大橋)において実証試験を行い、橋梁点検への適用性検討や課題抽出を行い、その有効性を明らかにするとともに、社会実装に向けた環境・体制整備についても示しています。技術の横連携を推し進めることで、更なる発展が期待される点も評価され受賞に至りました。



WEB授賞式の様子



コロナ禍でのWEB授賞式でしたが、素晴らしい式となりました。



表彰状

松田浩教授をはじめ、論文執筆にあたりご協力頂いた方々に改めてお礼申し上げます。本論文内により得られた研究成果は、これからの橋梁点検省力化、効率化に寄与するものであり、より一層社会貢献につながるよう邁進していく所存です。

前田工学賞・山田一字賞(公益財団法人 前田記念工学振興財団)ホームページ

<https://www.maedakksz.or.jp/prize/>

あわせて弊社HPのトピックもご覧ください。<https://www.krcnet.co.jp/topicsweb/topicsweb.htm>